

第42回 福岡県地方史研究協議大会 を開催しました

去る6月28日(土)福岡県地方史研究連絡協議会(略称:福史連)との共催で、「地域の歴史とまちづくり」をテーマに、福岡県の歴史やまちづくりなど地域の歴史や活動に関心をお持ちの方を対象として、豊前・筑前・筑後の県内三地区での事例を三人の方に発表していただきました。

当日はあいにく朝から雨でしたが、県内の郷土史研究団体の会員の方や各地の歴史資料館・文化財関係の担当者の方、学校関係者や歴史に興味をお持ちの方、勉強中の方など県内各地から多くの方にご参加いただきました。

三人の発表者の熱心な取り組みや具体的なお報告に会場からも活発な質問が続出し大変刺激の多い会となりました。発表内容は後日、『福岡県地方史研究協議大会報告』として発行いたします。

当日の様子を写真でご覧ください。



豊前地区

「古代焼き物の里 築上町船迫窯跡の保存整備」

高尾栄市氏(築上町教育委員会)



筑前地区

「福岡遊学 ふるさと歴史散歩の魅力」

竹川克幸氏(福岡地方史研究会会員)



筑後地区

「あなたの町はどんな町 御当地検定の課題」

樋口一成氏(久留米郷土研究会会長)